

## 会議録

会議の名称	令和6年度 第1回登米市地域公共交通会議運賃協議部会
開催日時	令和7年1月24日(金) 午後1時00分～午後1時25分
開催場所	迫公民館 2階 小会議室
議長の氏名	徳永 幸之
出席者の氏名	1. 登米市まちづくり推進部 部長 佐藤 靖 2. 米川タクシー 代表 佐藤 玄 3. 国交省東北運輸局宮城運輸支局 首席運輸企画専門官 関澤 京子 4. 宮城大学 教授 徳永 幸之
欠席者の氏名	なし
事務局職員 氏名	千葉 克巳 (市民協働課長) 相澤 智美 (市民協働課地域交通・交流係主査)
協議事項	(1) 部会長・副部会長選任 (2) 米谷地区デマンド型乗合タクシー運行事業の運賃設定について
会議結果	原案のとおり承認
会議資料	別紙のとおり
発言者	議題・発言・結果
事務局	<p>只今より、第1回登米市地域公共交通会議運賃協議部会を開会する。</p> <p>始めに、本日ご出席の方々を紹介する。</p> <p>(名簿順に紹介)</p> <p>本日の会議については、委員の過半数のご出席があるので、登米市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により、本会議は成立していることをご報告する。</p> <p>協議事項 (1) 部会長及び副部会長の選任を行う。</p> <p>登米市地域公共交通会議設置要綱第8条第3項において、「運賃協議部会に、部会長及び副部会長を置き、部会員の互選により定める。」としている。選任にあたっては、まちづくり推進部佐藤部長に仮議長をお願いする。</p>
仮議長	今回初めてであるので、部会長が決まるまでの暫時の間仮議長をさせて

	<p>いただく。</p> <p>登米市地域公共交通会議設置要綱第8条第3項により、部会長、副部会長は部会員の互選ということになっている。自薦他薦問わないが、どなたがよろしいかご意見を頂戴したい。</p>
部会員	事務局案。
仮議長	只今、事務局案という話があったが、事務局案を伺ってよろしいか。
部会員	(異議なし)
仮議長	事務局案があればお願いする。
事務局	部会長として徳永幸之部会員、副部長として佐藤靖部会員にお願いしたいと思うがいかがか。
仮議長	部会長に徳永部会員、副部会長に私ということで話があった。よろしいか。
部会員	(異議なし)
仮議長	それでは、部会長が決まったので、今後の議事は部会長に進めていただく。 (仮議長退任)
事務局	会議の進行につきましては、登米市地域公共交通会議設置要綱第6条の規定の準用により、部会長が議長となると定められているので、徳永部会長が議長となり進行していただく。
議長	それでは議事に入る。 (2) 米谷地区デマンド型乗合タクシー運行事業の運賃設定について事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料に基づき説明)
議長	現在実証運行中、来年度から本格運行となる中で、従来通りの運賃ということだが、ご意見はあるか。

部会員	1点確認であるが、別紙1裏面の登録施設一覧の町域外の「一関信用金庫前バス停」という表現について、あえて金融機関名ではなくバス停名にしたのは何か理由があるのか。
事務局	町域外の施設を設定する場合には、かかりつけ医や町域内にない施設などの一定の基準を設けている。東和町内には金融機関やATMがあるので、一関信用金庫というのではなく、もう一つの基準である中心市街地循環線のバス停についても登録を認めている。そこから循環線に乗って迫町内を回っていただくというところで許可をしているところである。
部会員	一関信用金庫が目的地ということではなく、循環線に乗るための経由地だということか。
事務局	そのとおりである。
部会員	了解した。
部会員	今回、事前の意見募集もしていただき、感謝する。利用者の皆さんもこのままの運賃と同額であれば同意するとの意見なので提案の運賃で支障がないと考えられるが、その一方で、燃料費も上がっているので、今後、利用者への情報提供をしながら、検討をしていってほしい。
部会長	米川タクシーさんから何かあるか。
部会員	ここに掲載されている施設以外にも行きたいという声はよく聞く。
部会員	地元のコミュニティが主体であるので、希望の多い施設は追加してもらうという方法もある。
事務局	お客様からの要望があるということを情報提供していただければ、運行主体でも検討しやすいと思う。
議長	まったく自由ということになると、タクシーと同じになる。 そうなると、本業の方にも影響が出ると思うので、そのあたりも見ながら検討が必要である。
部会員	便ごとの時間もなかなかそのとおりにいかない。 同じ時間帯に、離れたお宅の予約が入ると、時間をずらしてもらわない

	といけない。中田町まで行くと、往復に時間もかかるので、1時間くらい待たせてしまうこともある。
部会員	前日予約が完全に浸透すればよいが、どうしても急にという人が出てくるのだろう。
部会員	ほとんどが急な予約である。30分前、1時間前という話もあるが、難しい。乗りたい人はすぐ乗りたい。一般のタクシーと同じようになっている。
部会員	事務局から運営主体の方に、基本は前日予約など、地域の人たちに理解していただくよう周知していただくべき。
部会員	どうしても病院関係だと、朝は同じくらいの時間の受付で、終わる時間も同じくらい。同じ病院だとまだよいが、違う地域の病院だと待ち時間ができる。
議長	そのあたりの使い方の周知、利用促進策を含め、協議会というより市としてしっかりと周知した方がよい。
部会員	現場での話なので仕方ないところもあるが、決め事があればそのとおりやる。
議長	運転手の身になれば、断るのもつらいだろう。 この誤解のもととなるのが、「乗合タクシー」という呼び方であると思うので、いずれかの機会に「タクシー」という言葉を外してもらったほうがよいかもしない。昔、乗合事業なのだから、タクシーというより「バス」と呼んだ方が混乱がなくていい、「プチバス」というネーミングもいいかもという話もあった。当時はバスの定員に関する規定はなく、通達だけだった。
部会員	他の運営主体や事業者さんにも聞きながら、1回には良くならないかもしれないが、少しづつ調整できるように意見聴取していただければ。
事務局	現在実証期間中であるので、データ、今お感じになっているご意見や実際にあった事例を、我々や米谷地域づくり推進協議会さんに伝えていただきたい。例えば周知の方が足りないのであれば、乗り合いなのでルールはこうですよという部分を改めて周知していければと思うので、これからも意見をいただきたい。

議長	なかなか現場の声を聞くことがないので参考になる。 運賃に関してだが、購入割引や免許返納割引などはなかったか。
事務局	デマンドに関しては特はない。
議長	市民バスはどうか。
事務局	市民バスは免許返納者に1年間無料のあしがるくんを交付している。 75歳以上の後期高齢者は200円が100円になる。 デマンドは補助金の交付規定で基準収支率を定めており、収入を減らす というのは難しい。
議長	了解した。それでは、実証運行どおりの運賃とすることでよろしいか。
部会員	(異議なし)
議長	原案どおりということでお願いする。
事務局	以上をもって、第1回登米市地域公共交通会議運賃協議部会を終了する。 (閉会)